

賢者の石 Wise Man's Stones

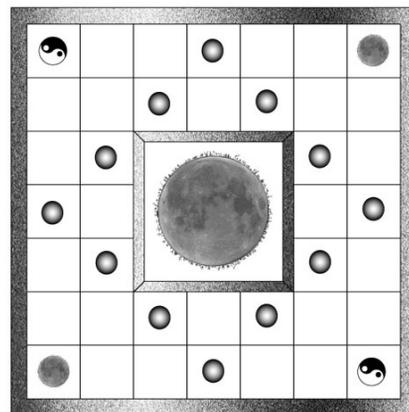
お互いに30個の置き石を持ち、ボード中央に初期配置された12個の高得点（1個2点）の宝石と敵石（1個1点）を捕獲して得点を争うゲームです。手番に出来ることは持ち石をボードに配置すること。1手で1個～6個まで任意の数の石を置くことができます。置いた石で宝石や敵石を飛び越えると捕獲することができます。

石を置くだけのシンプルなゲームですが、最後に大逆転が起こり得る可能性があります。

【持ち駒と初期配置】

各プレイヤーは各々30個の持ち石があります。7x7マスのボードの中央3x3マスはブランクスペースです。12個の宝石をダイヤモンド状にボードに初期配置します。またお互いのイニシャルストーンを自陣コーナーに初期配置します。

初期配置



【手番に出来ること】

適当な方法で先手後手を決めます。手番に出来ることは自分の持ち石をボードに配置することです。最初は必ず自陣コーナーに置かれた自分のイニシャル石から始まります。配置は縦または横に直線状に延びるように配置する事ができます。配置の途中で配置された石を起点に左右に曲がることもできます。ただしバックや斜めには配置できません。配置出来る石の数は1個～6個まで自分の好きな任意の数を配置することができます。

【宝石、敵石の獲得】

一連の配置の延長線上に宝石または敵石がある場合はそれらを飛び越して配置することができます。ボードの外や中央のブランクスペースに入ってしまう場合は、その方向には配置できません。飛び越えた宝石と敵石は手番終了時にボードから取り除き得点として獲得できます。宝石は2点、敵石は1点です。

【イニシャル石の取り除き】

自陣にイニシャル石がある場合は石の配置は必ずイニシャル石から始めなくてはなりません。自分の手番終了時にイニシャル石をボードから取り除くことができます。その場合次回からの手番ではボード上に配置された自分の石のどこからでも起点にして石を配置することができます。ただし一度取り除いた自陣コーナーには自分の石を置くことはできません。敵陣には置くことができます。

【コーナー石の取り除き】

自陣敵陣以外のコーナー2カ所には石を置くことができます。ただしコーナーに置かれた石は敵の手番の時に敵がいつでも任意にコーナーから取り除いて獲得石にすることができます。

【プレーオーバーとゲームオーバー】

先に全ての持ち石を使いきってしまった場合はそのプレイヤーはプレーオーバーとなります。相手プレイヤーは残りの持ち石を使いきるまでプレーを続行します。一度に置ける数は通常の手番と同じです。両方のプレイヤーが全て石を置ききった時にゲームオーバーとなります。

【勝利条件】

- 1：獲得石の合計点が多い方が勝ちです。宝石は2点、敵石は1点です。
- 2：同点の場合は後手の勝ちとなります。
- 3：パスは出来ません。合法手が無く持ち石を置けない場合は負けとなります。

注意：【手番とは】

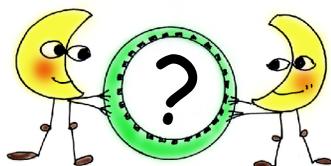
ゲームの始まり、手番の始まり、または敵から手番を譲られてから、自分が任意の石をボードに置いて飛び越した宝石または敵石をボードから取り除き終わって5秒後までとします。

【特別ルール：賢者の石-神の微笑み】

ダイスを使います。手番の時に配置する石の数をダイスを振って出た目の数だけ配置します。その他のルールに変更はありません。これで「運」の要素に左右するようになります。ただしお互いに持ち石30個を使いきるまでゲームが続きますので、「運」だけでは勝つことはできません。

プレー人数：2人
時間：10分～15分
年令：10才+

*注意：駒などの小さなタイルは子供が飲み込む恐れがあります。手の届かない場所に保管しプレーをしてください。



www.logygames.com

発売元 株式会社ギフトボックス

198-0102 東京都西多摩郡奥多摩町川井558-1

E-mail: moonwalker@logygames.com tel:0428-85-2070 fax:0428-85-2071
